

こんごういん ニュース
金剛院 NEWS

文化財と地域を守る「文化財防火デー消防演習」

地域消防団と池袋消防署による防災演習が行われました



この日の消防演習は1月26日の「文化財防火デー」活動の一環として行われました。「文化財防火デー」とは、昭和24年1月26日に奈良・法隆寺金堂が炎上、国宝の壁画が焼損したことを契機に設けられたものです。

消防署と消防団との協働で、本堂の屋根へ放水！



訓練は「境内で地震によって火災が起こり、参拝者に負傷者が発生。初期消火の効果なく119番通報で消防署に出動を要請する」という設定で、住職は消防署の方の指導のもと、消火器による初期消火と通報訓練を行いました。次に、地域の消防団（池袋消防団第四分団）の皆さんは本堂への一斉放水と、負傷者救護の指導を受けました。



119番通報後、消防車が到着する前に、いち早く活動を開始するのは主に商店街の皆さんによって組織された消防団です。お仕事の傍ら、こうした防災活動を自主的に担っていただくことで、地域の安全が守られています。

「皆さんの地域でもこうした機会があったら、ぜひ積極的に参加して防災意識を高めて欲しいですね」と関係者は話していました。



【左上】訓練開始前、全員で前夜の除雪作業【右上】消防団の皆さんは非常時に備えて自宅に防火服を準備しているそうです【中左】消防署よりも先に現場に到着するのは地域の消防団です【中右】負傷者を救出する訓練も【下左】山門は大切な文化財【下右】東区消防庁と池袋消防署の消防車も展示されました

★前夜積もった雪で、安全面に配慮して幼稚園児の見学や、地域の皆さんによる延焼防止活動などが中止になったのは残念でしたが、無事訓練を終えることができました。消火器も、こうした訓練で実際に使う体験をしておくことは大切だなあと実感しました。何事も「日頃の備え」が大事ですね。(住職記)



マメ消防士？